

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	05 03 04	中期総合計画主要施策番号	1-03	担当課	部・課	環境部水大気環境課	
事業名	ダイオキシン類対策事業				内線	2761	
					E-mail	mizutaiki@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H11 ~	根拠法令等	ダイオキシン類対策特別措置法				
実施方法	県が直接実施・委託（ダイオキシン類調査）					国庫・県単	県単独事業

  

事業の概要等	目的（必要性）	ダイオキシン類について、排出抑制、環境調査を実施するとともに、県民への情報提供を行い、生活環境の保全を図る。				
	対象	県内全域（大気、水質、土壌、底質）				
	目指すべき姿	ダイオキシン類について、排出抑制、環境調査及び県民への情報提供を推進し、良好な生活環境の保全を目指す。				
	事業内容	・一般環境（大気・水質・土壌・底質）におけるダイオキシン類調査を行う。 ・廃棄物焼却炉の排出ガス検査を行う。 ・廃棄物焼却炉周辺大気・土壌のダイオキシン類調査を行う。				

  

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度（当初）	23年度事業費の主な内訳 需要費：1,492千円 委託料：6,110千円
	最終予算額（A）		千円	14,263	7,902	7,418	
	決算額（B）		千円	13,993	7,602		
	B（H24）はA）のうち一般財源		千円	13,993	7,602	7,418	
	概算人件費	従事する職員数	人	5.00	4.00	4.00	
		概算人件費（C）	千円	41,585	33,032	33,032	
	概算事業費（B（H24）はA）+ C）		千円	55,578	40,634	40,450	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度（見込）	左記以外のH23年度実績  (効率指標 算出式) 概算事業費 / (環境基準調査等検体数 + 排ガス調査箇所数)
	環境基準調査等（活）		検体数	60	51	46	
	特定施設排ガス調査（活）		箇所数	5	10	10	
	<効率指標（単位当たりコスト等）> 検体数		千円 / 検体	855	666	722	

  

事業の成果	事業の目標（H23）			事業成果・評価			評価区分
	・一般環境（大気4地点、土壌3地点、水質8地点、底質4地点）で環境基準を達成する。 ・発生源周辺調査（大気12地点、土壌3地点）で環境基準を達成する。 ・排出ガス検査を行う廃棄物焼却炉等10施設で排出基準を達成する。			・一般環境調査は全て環境基準を達成した。 ・発生源周辺調査は全て環境基準を達成した。 ・排出ガス検査を行った廃棄物焼却炉等10施設中2施設で排出基準を超過したが改善命令により改善させた。			<b>b</b> 期待どおり

  

事業の課題	区分		判定・説明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・ダイオキシン類対策特別措置法の法定受託事務として実施している。 ・平成23年度よりすべてのダイオキシン類測定を外部委託とし効率化を図った。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善（有効性・効率性）の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析（今後の課題、取組方針等）	・排出源監視（排出ガス検査）については、行政による監視強化が求められていること、排出基準超過施設が例年あることから今後も必要である。 ・受託業者の業務の信頼性確保のため、環境保全研究所職員による検体採取の立会等により業務内容のチェックを行っているが、外部委託の恒常化による分析経験の不足に伴い、将来的に委託業者に対する精度管理技術の低下が課題である。				
	特記事項					